



裏磐梯だより

No.95

2019年3月



▲木々の芽吹きを待つ小野川不動滝

今シーズンは例年より雪が少なくビジターセンター前の最深積雪は 122cm でした。これは昨シーズンの最深積雪より 53cm も少ない積雪量です。この後も雪解けが早く進むと、裏磐梯に春が訪れるのが早くなるかもしれません。

さて、写真の小野川不動滝は、環境省が「名水百選」に選定した小野川湧水の下流に位置する、落差約 25m の大きな滝です。滝の近くには不動明王が祀られており、滝の名前の由来にもなっています。小野川湧水は別名「百貫清水」とも言われており、昔、湧水が絶えることなく噴出していたため「百貫の価にも換ふべからず」と讃えられたことからこの名がつけました。

冬の間は、滝の周りの青い氷「ブルーアイス」で私たちを楽しませてくれましたが、春になれば新緑と滝の共演で私たちを楽しませてくれるはずです。季節によって表情を変え、いつ見ても雄大な小野川不動滝を訪れてみてはいかがでしょうか。